

実施校 上越市立春日新田小学校

学年・人数 4年生・計125名

実施日

平成27年11月12日(木)、
11月13日(金)、11月16日(月)

● 実施内容

○平成27年11月12日(木)、11月13日(金)、11月16日(月)
4年生4クラスをクラス毎に実施(各110分)

講座の目的：

「7.11水害」20年事業の一環として、失われつつある当時の記憶、教訓を次世代に伝え、将来起こる水害に対する心構えを身につけてもらうため、上越教育大学大学院山縣教授とともに出前講座を行うものです。

講座概要：

今回は第2回目の講座(全3回)で、学校外で以下の内容を学習しました。

- ①洪水時の危ない場所や避難場所について(山縣教授より)
- ②水害当時の様子について(地元町内会長より)
- ③洪水に備えた関川の施設について(高田河川国道事務所職員より)

第3回目の講座では、水害経験者のお話を振り返り、水害の状況や危ない場所を地図に落とし確認するなど、今までの講座のまとめをする予定です。

【山縣耕太郎教授 プロフィール】

所属：上越教育大学大学院学校教育研究科社会系教育講座教授

専門は自然地理学(島弧火山発達史、第四紀環境変遷史など)。

専門を活かし、上越教育大学が主催する出前講座では、「地域の災害を想定する」をテーマに防災教育を行っている。

● 講座の様子



今回の講座について

山縣教授から、小学校周辺の地図に洪水時の危ない場所をチェックしていきましょうという説明がありました。



危ない場所(でっぱり)について

小学校体育館付近にある道路の縁石は、洪水時は水で見えなくなるため、つまづかないように気をつけることをみんなで確認しました。



安江2丁目交差点の水害当時の様子

安江1丁目町内会長から、「面川で増水した水が用水路を通って流れてきて、約70cmの深さまで浸水した。」というお話がありました。

実施校 上越市立春日新田小学校

学年・人数
実施日

4年生・計125名
平成27年11月12日(木)、
11月13日(金)、11月16日(月)



危ない場所（水がたまる
ところ）について

安江2丁目交差点付近にある道路より一段低い田んぼは、洪水時は他の場所より水深が深くなるため近づかないようにすることをみんなで確認しました。



安江2丁目の水害当時の様子
安江2丁目町内会長から、「洪水時はいつも低い住宅地の方から水があがってきたが、7.11水害時は戸野目川の水が堤防を越えてきたため住民たちは驚いた。」というお話がありました。



松村新田の水害当時の様子
松村新田町内会長から、「住民が協力して堤防に土のうを積み重ねたが、戸野目川の水が堤防を越えて町内へ流れ込み、70～90cm浸水した。」というお話がありました。



危ない場所（水が流れる
ところ）について

小学校付近にある用水路は、道路より2m以上も低くなっていて柵もないため、洪水時は近づかないようにすることをみんなで確認しました。



避難場所について

山縣教授から、増水して避難場所まで行けないときは、近くにあるコンクリートの2階建て以上の高い建物に一時的に避難した方がよいというお話がありました。



危ない場所（ふたがない溝）
について

関川付近の所々ふたがない側溝は、落ちるとふたで上がってこれない可能性があるため、反対側の歩道を歩くことをみんなで確認しました。



関川の堤防について

子供たちが堤防に座り、住宅地と比べて堤防がどのくらい高いかメジャーで確認しているところです。



春日新田資材倉庫について

水防時に使用する土のう袋やライフジャケット、照明、救命ボートなどを見学しているところです。



今回の講座のおさらい

最後に講座のおさらいをし、次回講座までに自分の通学路に危ない場所や避難場所がないかチェックをするという宿題が出されました。